

私の生活の一部伝書鳩飼育 第8弾

平成31年2月吉日



今回で8回目の掲載になりますが、鳥の名前はハル8号といいます。またはハル330号です。2015年春レース300Kに於いて埼玉連合会で優勝した鳥です。このレースにはちょっとしたアクシデントがありました。それは実際には埼玉連盟総合600Kレースの予定で放鳩地 青森県の三沢に於いて現地で待機していたのですが、度重なる天候不良の為4日ほど延期されました。鳩さんたちは一部屋40羽位の狭いコンテナに6日間ぐらい閉じ込められていますのもう限界にきていましたね。そこで埼玉連盟の役員さん方が協議をしたそうです。一旦引返して仕切り直しをしましょうか。又は近くで放鳩しましょうかということで帰路についたそうです。途中の宮城県の鹿島台という場所での放鳩ということになったそうです。このレースは埼玉連盟総合600Kレースではなく各連合単位の300Kレースということになりました。鳩飼者としての目標はやはり総合レースで10位以内入賞です。特に500K・600K・700K・800K・1000Kに標準を合わせていますから。どのレースにおいてもアクシデントは大変な痛手です。今回の300Kレースで

優勝はしたものの余り嬉しさがありませんでした 600K と言えば本州の先端で一応飛ばして於かないと難関の津軽海峡を飛んでくる事を覚えさせます、この先に北海道の地 700K・800K・1000K レースが控えていますので大事な距離です。

以前にも600K レースに向かう途中青森でコンテナがひっくり返ると言うアクシデントがありました。その時は持ち寄り場所まで引き返してきました何羽か即死したそうです。持ち帰りの為にレースにはなりませんでしたが仕切り直しで600K レースを再実行された事がありました。时期的3月から4月は特に北は雪ですので運転手さんは大変だと思います一緒に同行する放鳩担当者も大変です本当にご苦労さんだと思います 3月の青森はそれは言葉には表せない位寒く辛いのですだからといってアクシデントは困りますね。

話はハル8号になりますがお鳩は師匠ケンちゃんのヤンセン系に♀鳩は春日部市のT・O氏の作出でやはりヤンセン系です 両親とも友人の大工さんのT・Nさんに預けて間もなく300Kの優勝です すかさず大工のT・Nさんに連絡しましたね。あの鳥の子で優勝したからT・Nさん(大工の)もすぐ作出しらどうですかと言いました。その両親は少し高齢でしたからそんなに沢山の雛鳩の作出は無理かと思しますので 出きるだけ早くした方が良くとも伝えましたがその後は特に確認はしていません。

ひとり言の粹

2019年今年の鳩レースもはじまります。春期の日程も決まりまずは200K レース 2月8日の持ち寄り 2月9日の放鳩の予定です。天候が良くありませんからおそらく延期でしょう この先心配です200K・300K・400Kと終わり 今年もまた魔の600K レースになりました わが鳩舎でも15羽参加したものの当日 2羽しか帰還できませんでした 翌日も1羽で終わりましたもう 600K は参加したくない最近私の鳩は500k レースで止まりになったようです。次は700K レースこれで今年は終わりでしょうか！